

日銀支店長が語る

経済よもやま話

第27回 ワクワクし続ける東北



日本銀行前仙台支店長 岡山 和裕

とうとうこの日がやってきた。そう、東北の地を離れる日が。通勤族なのでこの日がやってくることは分かっているのだが、やはりやってくるととても寂しい。そして、これまで行った東北各地の素晴らしい所を思い出す。

これまで2年間、ここで毎月コラムを書かせていただいた。コラムのタイトルが「日銀支店長が語る経済よもやま話」なのだが、最近の金融経済情勢や金融政策については、毎月の記者会見や年間60回ぐらいの講演でお話しさせていただくことが多いので、このコラムは私が色々と東北巡りをした場所の素晴らしさ、歴史的な出来事、そして、付け足しの（笑）経済的な話となった。

このコラムが増えてくると、段々と皆さんから「面白いので、読んでいますよ」とか、「あっ、そこまで行かれたんですね。地元に住んでいる人でもあまり行かないですよ（笑）」という温かい反応をいただくことが多かった。

こうした温かいお言葉をいただくと、私は単純な性格なので（笑）、さらにやる気になって色んなところを巡って、それらをこのコラムに書いてきた。そして、コラムのストックができて、ここで発表できていないものも多く残っている。

さて、以下、私がこの2年間で宮城県、山形県、岩手県でコンプリートした100選の類を羅列させていただく。さくら名所100選、日本100名城、続日本100名城、かおり風景100選、残したい日本の音風景100選、日本で最も美しい村、日本の棚田百選、日本農業遺産、日本遺産、世界遺産、名水百選、ダム湖百選、ため池百選、疏水百選、世界かんがい施設遺産、ラムサール条約登録湿地、重要伝統的建造物群保存地区、日本風景街道、遊歩百選、日本の白砂青松100選、快水浴場百選、未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選、日本の夕陽百選、日本百名月、出羽三山、奥州三十三観音霊場、松島四大観、道の駅。

本当に色んなところに行かせていただいた。色んな場所で、東北の四季折々の自然の素晴らしさ、自然の威力、それらを受けた各地域の皆さんの逞しい対応を目の当たりにした。自然への畏敬の念はお祭りという伝統文化に色濃く影響を及ぼしていることを痛感し、お祭りを長い間続けておられることに敬服した。また、巡った場所で、きれいな景色、美味しい食事やお酒、温泉などを本当に堪能した。

また、様々な方々と交流させていただいた。皆さん、当然、お仕事での知見、行動力は素晴らしいし、プライベートでの充実ぶりにも大いに刺激を受けた。その中で、東北の方々の粘り強さ、変化に柔軟に対応してきたしなやかさ、加えて周囲の人々への温かさを痛感した。

このコラムの最初のタイトルが「ワクワクする東北」だったため、今回、最後のタイトルは「ワクワクし続ける東北」とした。

今後の経済情勢を考える上で、やはり人口減少、気候変動が極めて重要な課題であると思う。そうした中、東北地方には豊かな自然があり、また、これまで様々な変動をくぐり抜けてきた逞しい行動力をお持ちである。私は東北を離れるが、微力ながら大いに東北を応援していきたいと思う。

私の好きな歌に「さよならは別れの言葉じゃなくて再び逢うまでの遠い約束」という歌詞がある。また逢う日までお元気で!!! これまでありがとうございました。

岡山 和裕氏 プロフィール

1969年（昭和44年）生まれ
兵庫県出身。本店15部署のうち8部署を経験したオールラウンダー。東日本大震災では、金融機構局で被災金融機関との連携役を担ったほか、熊本地震では決済機構局業務継続企画課長として現場を指揮。前橋支店長、業務局参事役等を経て、仙台支店長に就任